

7月2日(火)

実を結ぶ

聖書朗読 詩篇 92:12~15

彼らは年老いてもなお、実を实らせ、みずみずしく、おい茂っていきましょう。

詩篇 92:14

詩篇92篇は、年齢と共にやってくる困難さを経験している人たちには素晴らしい聖句です。実を实らせるというのは単純なことではありません。歩けなくなってしまった人も、末期的な病気にかかっている人も、それぞれの人生において実を結び主からの祝福を受けています。知り合いの男性は、電話をかけることによって実を实らせています。毎日電話して誰かを励ましているのです。彼はたくさんの人の人生を明るくしています。誰かを理解しようとするのは実を实らせることです。他の人のために祈ることも実を实らせることです。

モーセやヨシュアやダニエルのような聖書の中の偉大な英雄たちが、素晴らしい働きをしたのは歳をとってからでした。しかし、偉大な英雄ではなくても、一見目に見えないような働きをしている方も、主の目にすばらしい英雄となります。実を結ぶために必要なことは、紅海を分けることや、カナンを侵略することや、バビロンの総督になることではありません。神様に祈り、神様を愛して神様を喜ばせることが実を实らせる生き方です。自制した生き方、他人に親切に接すること、優しい性格であることは、実を实らせたサインと言えます。これは何歳でもできることです。

神様があなたの岩であると認めることは、歳をとった人が実を实らせる最高の方法です。『彼らは年老いてもなお、実を实らせ』と言う時、詩篇の作者は私たち皆にそう勧めています。

讚美歌 56 よろこびの日よ

祈り 主よ。あなたに人生を捧げます。年齢や置かれている状況によって困難な状態にあっても、これまでのようにお仕えして、あなたの栄光のために実を实らせたいです。あなたの恵みを感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 アービング / ブライアン・ヒューメック

7月3日(水)

注 目

聖書朗読 詩篇 100篇

心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。
マルコ 12:30

詩篇100篇に書かれている、「声をあげよ」、「仕えよ」、「歌いつつ」、「知れ」、「はいれ」、「感謝し」などのことばを見ると、詩人が神様はどれだけあなたの注意を引きたいと思っておられるのかを記していることが分かります。でも、あなたは色々なことに携わっていて、もう手一杯なのです。しかし、この意味をよく考えてみると、神様が望んでいるのは、あなたがもっと何かをすることではなく、あなたの心を神様に向けなさいということです。

神様は、あなたが気にしていることをもうご存知です。故障しがちな洗濯機や、新車の月々の支払いの他に、難しい人たちが周りに大勢いるのです。あなたの年老いた両親はあなたの助けが必要ですし、お隣に引っ越してきた人は土地の境界線に文句を言い、子供たちは反抗期真っ盛りです。

目の前の状況が大変で、あなたは沢山のことが気になっています。そんな中、なぜ神様はあなたの注意を引きたいのかをよく考えて下さい。相手は他にもない神様なのです。神様はあなたをお造りになり、子どもとしてくださり、兄弟姉妹たちと共に生きる生活を与えてくださいました。あなたには神様の大庭に入る門が開かれています。他の人はあなたに要求したり強要したりしますが、神様は優しくあなたがまず神様に注意を向けることを待っていて下さいます。神様の御腕は大きく開かれています。神様と共に生きることは、あなたに平安と憩いをもたらします。さあ、すべてのことを脇に置き、まず神様に注意を向けて歩いて行きましょう。

讚美歌 527 わが喜び、わが望み

祈り 父よ。あなたは私の注意を向けなければならない何よりも偉大なお方です。今日、私がする全てのことで、あなたのお名前を賛美いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

ニューハンプシャー州 ナシュア / テリー・フェルプス

7月4日(木)

感謝

聖書朗読 詩篇 100:1~5

主に感謝し、御名をほめたたえよ。主はいつくしみ深く、その恵みはとこしえまで。
その真実は代々に至る。 詩篇 100:4~5

感謝というのは、した方がいいものであるとか、ある性格の人だけがする行為とかいうものではありません。それは、神様が寛大にも私たちと分かち合ってください、神様のご性質の一部です。感謝とは、どういう状況であっても感謝するという姿勢です。特にこれと言うことが起こらなくても、恵みを味わい感謝する日々を送ることができます。

私たちの身体は感謝を表すように造られました。科学的調査によって、感謝することで睡眠の質や気分や免疫力が向上することがわかっています。感謝によって気分の落ち込みや不安が軽減するかもしれません。神様は私たちが感謝するように造られました。

詩篇の詩人は、喜びをもって主に仕えよと勧めています。神様への感謝を実践することで、喜ぶ心を育てることができます。私たちが神様に感謝する時、神様が私たちをお造りになったことや、愛してくださっていることや、私たちには神様が真に必要なのだということを思い出させてくれます。

感謝は伝染します。人と人を繋ぐ役目もします。キリストにある兄弟姉妹を裁くのではなく、神様に感謝することにもっと時間を使うなら、私たちの人生ははるかに豊かなものになるでしょう。神様のすばらしいご性質ゆえに、感謝しほめたたえましょう。

讚美歌 4 よろずのくにびと

祈り 主よ。あなたのみわざと創造物を見させてください。そして、あなたの素晴らしさを味わえますように。私たちは日々の生活の心配事に心を乱しがちです。あなたに目を向けて、へりくだり、あなたの素晴らしさを認識させてください。感謝いたします。イエス様の御名によって。アーメン

アーカンソー州 ファイエットビル / Lスコット・ゲイジ

7月5日(金)

創造物に対する神様の備え

聖書朗読 詩篇 104:1~35

私の心の思いが神のみこころにかないますように。私自身は、主を喜びましょう。
詩篇 104:34

夜空を見上げて、世界は再び正しくされると思ったことはありますか。人間によって損なわれていない、神様が一つの汚点もない完璧なバランスで創ってくださった世界を見るのは心地よいです。少しの間、心配をすべて忘れてください。詩篇104篇を読んで、神様に祈ってください。創造における神様の御力に焦点を当て、神様が創造されたものに、これからもどのように備えてくださるのかを見ましょう。

神様の尊厳が見えますか。神様は素晴らしい世界を創られました。そこには果てしなく広がる海があり、その中で、はうものは数知れず、大小の生き物もいます。(25節)また、私たちをも造られました。そして、今も将来も、私たちの必要をすべて満たすと約束してくださいました。いかに自分が無力なもののように感じていても、神様の御許で私たちは憩うことができ、神様の強さのもとで問題に向かうことができるのです。

私たちの心配事は一時的なものです。神様のいつくしみと恵みは永遠です。私たちの試練は水のように(7~9節)、限界があります。神様の力は無限です。神様は全てをご存知で、見ておられ、心配し、必要なものを与えてくださいます。主を待ちましょう。『主の救いを黙って待つのは良い。』(哀歌 3:26)

み使い聖徒ら歌え みいつを

月 星 太陽 たたえよ神を — ヘンリー・ヴァン・ダイク*

*編注:1907年、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章の主題旋律(歓喜の歌)に新たな歌詞を付けた讚美歌“ジョイフル ジョイフル”より。聖歌85参照。

讚美歌 90 ここも神の

祈り 親愛なるお父様。私を愛してくださってありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ウェストレイク ビレッジ / シャロン・ミッチェル

7月6日(土)

あなたの造られたもので満ちている

聖書朗読 詩篇 104:24~35

主よ。あなたのみわざはなんと多いことでしょう。あなたは、それらをみな、知恵をもって造っておられます。地はあなたの造られたもので満ちています。

詩篇 104:24

動物愛好家であり、アウトドア愛好家であり、植物愛好家であり、風景写真家、それが私です。子供時代に神様の創造物が私の心を捉えました。湖畔の星降る夜に神様の存在を感じたのを覚えています。静かな湖面に映っている壮大な宇宙と数え切れない星に圧倒され、神様をほめたたえました。神様は、不思議なもの、精細なもの、美しいもの、時には面白い生き物を造られ、地と空と海を満たされました。

山や樹や川や岩や湖や草原のただ中にいると、地は神様の造られたもので満ちていることを教えられます。私たちは神様の創造物であり、神様をたたえるために造られたのだと教えてくれます。神様の栄光をほめたたえることは、『主の栄光が、とこしえにありますように。』(31節)と神様を正しく評価することです。神様の創造物は、『私は生きていますかぎり、主に歌い、いのちのあるかぎり、私の神にほめ歌を歌います。』(33節)とたたえる源となりました。

讚美歌 48 静けき夕べの

祈り 創造主よ。天はあなたの栄光を語り告げ、地は御手のわざを告げ知らせることを理解できますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ボブ・マイズ

7月7日(日)

神様のお約束を信じる

聖書朗読 詩篇 110篇

主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいませ。
ヤコブ 4:10

誰かがあなたと約束した時のことを考えてください。約束を守ってくれると信じましたか。それとも、守ってくれないかもしれないと思い惑いましたか。子どもの頃、家族旅行でグランド・クーリー・ダム(編注:アメリカ合衆国ワシントン州を流れるコロンビア川に建設されたダム)に行きました。ダムを歩いて渡る時、父は私を抱き上げて柵の向こうが見えるようにしてくれました。私がダムを見渡すのをためらっているのを感じ取り、父は「怖がらなくても大丈夫。しっかり抱いているって約束するよ。」と言ってくれました。

父が私が怖がっていると分かってくれて、ただ父を信用するだけで、その恐怖を取り除いてくれようとしていると知るのは良い気持ちでした。何千フィートも下にあるダムの底に生えている木の幹がまるで爪楊枝のように小さく見えたが、父がしっかりと私を抱いてくれていたので、恐れは消えていきました。

父なる神様の強い御腕によって高くしてもらうのは、それ以上の素晴らしい気持ちでしょう。心配や気がかりで人生が耐え難いと思われる時、神様が私たちと共にいると約束してくださっていることを知り信じることは、何という恵みでしょうか。神様は私たちの恐れをご存知で、私たちがそれから解放されることを望んでおられます。幸せを味わっていても、苦難に落ち込んでいても、神様は私たちを愛し、「怖がらなくても大丈夫。しっかり抱いていると約束するから。」と仰ってください覚えています。落ち着いて神様に全てをお任せしてください。私たちの救いは御神からのみ来るのです。

讚美歌 529 ああうれし、わが身も

祈り 主よ。私たちを愛して下さってありがとうございます。あなたを信頼したいです。良い時も悪い時もあなた様を信頼できますようにお祈りします。
主の尊いお名前によって。アーメン。

ミズーリ州 セントルイス / ナディン・ランシー